

対象学年組： 第 2 学年

教科担当者：	CD組	中村大輔											
使用教科書：	山川出版社『詳説 世界史』												

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史演習α の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察し、構想できる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単 元 1 文明の成立と古代文明の特質	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	メソポタミア文明、エジプト文明、クレタ文明とミケーネ文明が今日に残した文化的遺産を理解する。	文明の誕生,古代オリエント文明とその周辺	都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	都市国家に富や権力が集まった理由を多面的・多角的に考察し表現する。	資料集・プリント	自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し表現している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	アッシリアがオリエントをはじめて統一することができた背景を追求する。	適宜	自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。				
	単 元 2 文明の成立と古代文明の特質	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	南アジアが南北に大きく二分されること、それぞれの風土に適合した生活が古くから営まれていたことを理解している。	南アジアの古代文明,南北アメリカ文明	南アジアが南北に大きく二分されること、それぞれの風土に適合した生活が古くから営まれていたことを理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	5
	南アジア最古の文明であるインダス文明が栄えた場所の特徴を表現する。	資料集・プリント	ヴァルナ制やジャーティ集団の成立をもとに、アーリヤ人社会に富や地位の差が生まれていった背景や原因を考察し表現している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	アーリヤ人の進入が南アジアにもたらした変化について追及する。	適宜	南アジアの古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、学習に取り組もうとしている。				
	定期考査（第1学期中間考査）/返却と解説						1
	単 元 3 文明の成立と古代文明の特質	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	殷と周の支配形態を比較し、共通点と相違点を理解する。	中国の古代文明	それぞれの地で多様な生業とそれに基づく先史文化を生み出したこと、各地で人々の移動や交流がおこなわれたことを理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
	戦国時代の社会において、鉄器の普及がおよぼした影響を多面的・多角的に考察し表現する	資料集・プリント	青銅器や獣骨など考古学的資料をもとに、当時の政治や支配のあり方を多面的・多角的に考察し表現している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】					
春秋時代と戦国時代を比較し、とくにそれぞれの秩序について違いを見出す。	適宜	中国の古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、学習に取り組もうとしている。					
単 元 4 中央ユーラシアと東アジア世界	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。					
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】					
新たに現れた「皇帝」の特質について、それまでの「王」と比較しながら理解する。	秦・漢帝国	秦・漢といった統一国家の支配体制について、それまでの春秋・戦国時代と比較したうえで理解している。					
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8	
統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を、多面的・多角的に考察し表現する。	資料集・プリント	統一国家の出現が社会や文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。					
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】					
遊牧民族の動きと魏晉南北朝の動乱との関係について追及する。	適宜	秦・漢帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、学習に取り組もうとしている。					
定期考査（第1学期期末考査）/返却と解説			○	○	○	1	

令和 7 年度 年間授業計画 教科 地理歴史科 科目 世界史演習 α
教科 : 地理歴史科 科目 : 世界史演習 α 単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第 2 学年

教科担当者 :	CD組 中村大輔													
使用教科書 :	山川出版社『詳説 世界史』													

教科 地理歴史科 の目標 :

【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史演習 α の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察し、構想できる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
2 学 期	単 元 5 南アジア世界と東南アジア世界の展開	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	南アジア最初の統一王朝であるマウリヤ朝のもとの仏教の発展について理解する。	仏教の成立と南アジアの統一国家	南アジアで生まれたさまざまな宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	7
	「海の道」の交易における南インドの役割を多面的・多角的に考察し表現する。	資料集・プリント	インド洋交易の広がりを多面的・多角的に考察し表現している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	東南アジアにおける国家形成の特徴を追求する。	適宜	南アジアで生まれた諸宗教について、追究してみたいことなどを見出して、学習に取り組もうとしている。				
	単 元 6 西アジアと地中海周辺の国家形成	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	ポリスの特徴およびそこでの人々の生活について、オリエントの都市国家と比較したうえで理解する。	イラン諸国家の興亡とイラン文明	アケメネス朝、パルティア、ササン朝といったイラン諸国家がそれぞれどのように興亡したのかを理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	6
	ギリシアの諸ポリスがマケドニアに敗れた要因を多面的・多角的に考察し表現する。	資料集・プリント	イラン文明が世界の諸地域に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	ギリシア文明が近代ヨーロッパにもたらした影響を追求する。	適宜	イラン文明について、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。				
	定期考査（第2学期中間考査）/返却と解説			○	○	○	1
	単 元 7 西アジアと地中海周辺の国家形成	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	地中海における領土拡大がローマ共和政に与えた影響を理解する。	ギリシア人の都市国家、ローマと地中海支配	アテネにおいてどのような経緯で民主政が出現したのか、またギリシア文化にはどのような特徴があるのかを理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	10
	ローマ帝国が危機を迎えた要因を多面的・多角的に考察し表現する。	資料集・プリント	ギリシアの人の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	ローマ帝国の文化的意義を追求する。	適宜	古代ギリシアについて、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。				
	単 元 8 西アジアと地中海周辺の国家形成	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	キリスト教の成立の経緯を理解している。	キリスト教の成立と発展	勢力を拡大させていたキリスト教をローマ帝国がどのように利用しようとしたのかを理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	7
	ローマ帝国によるキリスト教への対応を多面的・多角的に考察し表現する。	資料集・プリント	キリスト教が急速に広がった理由を多面的・多角的に考察し表現している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	キリスト教の成立の経緯を追求する。	適宜	キリスト教の成立について、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。				
	定期考査（第2学期期末考査）/返却と解説			○	○	○	1

令和	7	年度	年間授業計画	教科	地理歴史科	科目	世界史演習α
教科	地理歴史科		科目	世界史演習α		単位数	2
対象学年組：第 2 学年							

教科担当者：	CD組 中村大輔																		
使用教科書：	山川出版社『詳説 世界史』																		

教科	地理歴史科	の目標：
【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	

科目	世界史演習α	の目標：
【知識及び技能】	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	【思考力、判断力、表現力等】
		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察し、構想できる。
		【学びに向かう力、人間性等】
		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
3 学 期	単 元 9 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	ウマイヤ朝の領域的な広がりとその支配の特徴を理解する。	アラブの大征服とイスラーム政権の成立	イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのかを理解している。				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
	イスラーム文化の成立の経緯を理解し、またその特徴を多面的・多角的に考察し表現する。	資料集・プリント	イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	イスラーム政権の多極化が社会に与えた影響を追求する。	適宜	イスラーム教の成立と拡大について、追究してみたいことなどを見いだして、見通しを持って学習に取り組もうとしている。				
	単 元 10	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	単 元 11	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	単 元 12	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
	【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【学びに向かう力、人間性等】				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説			○	○	○	1